

# 未来グループ

## 70周年準備委員会 事業計画

70周年準備委員会 委員長 根本 昌義

在籍年数の少ないメンバーが多くを占める中で、自らが見聞きした助言や経験を心の拠り所として場面毎に求められる正解を模索しながら、各々与えられた役割を全うすべく努める姿が見受けられます。70周年という節目の機会を3年後に控える今こそ、先達が紡いで来た歴史を振り返りながら青年会議所運動に関するメンバーの知識の底上げを図り、地域や我々の更なる発展に向けて率先して行動できる人財を増やしていく必要があります。

まずは、我々にとってかけがえのない歴史の風化に歯止めをかけるために、当団体にまつわるできごとが記録されている資料を収集し、時間軸に沿ってまとめた史実を発表しながら道しるべを打ち立てることで、在籍年数や経験の深浅にかかわらず今日の我々は何を背負って歩んでいるのかという認識をあきらかにする機会を設けます。そして、過去の周年事業や諸大会といった節目の時点において先達が何を思い行動していたのかを知るために、当時の事業に尽力した方を語り部として迎える研修事業を開催しその内容を文書などに残しながら、貴重な経験談をメンバー全員で共有し次世代に紡いでいくことによって、水戸青年会議所の針路に大きな影響を与えた過去の実例を学び取ります。さらに、今後の活動のために最低限知っておきたいルールや考え方を習得し、JAYCEEとして胸に抱くべき志を分かち合うために、JCIや日本本会が管理するセミナーなどの研修プログラムを導入し、学習に集中できる環境下で知識欲を高めることによって、主体性のある人財を増やしながら一人ひとりの青年会議所運動に対する参画意識のバラつきを均一化します。

過去に回帰し歴史を紐解いていく中で、確かな知識を得たメンバーが自信をもってリーダーシップを発揮しながら地域の発展に寄与し、3年後の70周年という節目の機会に向けて志を胸に第一歩を踏み出す時、我々が思い描く未来への礎となる組織が構築されます。

### <事業計画>

1. 水戸青年会議所史の編纂と発表
2. 過去を紐解くための寺子屋事業の開催
3. 既存プログラムによる研修事業の開催